

# 令和2年度 八幡浜市総合教育会議議事録

## 1 日時

令和2年11月18日(水) 10:00～11:00

## 2 場所

八幡浜市役所八幡浜庁舎3階庁議室

## 3 出席者

### (1) 構成員

大城一郎市長、井上靖教育長、菊池誠教育委員、上田純子教育委員、  
泉俊也教育委員、山下貴満教育委員

### (2) 構成員以外の出席者

副市長、総務企画部長、総務課長、総務課長補佐、  
教育指導主幹、学校教育課長、生涯学習課長、学校教育課長補佐

## 4 市長あいさつ

本会議は、私と教育委員会との情報交換、連携強化の場として、定期的を開催をしているもの。

前回にあたる昨年度の会議では、「教職員の働き方改革について」等を議題とし、様々な意見交換を通じて環境整備の充実を図ることができた。今回の会議では、次第にあるとおり「小学校施設の改修等について」外2つの議題を設けている。

スムーズな進行により有意義な会にしたいと考えているので、よろしく願います。

## 5 議事

### (1) 小学校施設の改修等について

#### ① 宮内小学校体育館について

#### 【事務局】説明

「宮内小学校体育館改築期成同盟会陳情内容」

宮内小学校体育館は、築53年が経過しており、天井の一部が落下するなど老朽化が著しいので、当該体育館を取り壊し、現在地に新築してほしいというもの。個別要望は次のとおり。

- ・体育館の幅を拡張してバスケットボールコート2面を確保してほしい。
- ・トイレ及び更衣室完備の体育館にしてほしい。
- ・玄関入口にスロープを設置してほしい。

「事務局対応案」

- ・現状規模の改修案（長寿命化改良事業）、現状規模の改築2案、陳情規模の改築2案を提示する。
- ・現状では、児童が大幅に増える見込みがなく、学校統合の計画もない。
- ・現状の体育館は、旧八幡浜市の中学校規模であり、十分な大きさとなっている。更

に拡張改築することは他の小学校とのバランス上どうか。

- ・社会体育施設としてではなく、あくまで学校施設として、教育上、現状の規模で十分である。
- ・財政的に考慮すると、建替えは国庫補助事業の対象とならず全額市負担で実施することになり、極めて不経済である。

以上の理由で、長寿命化改良事業により現状規模の改修を行いたい。バスケットボールコートについては、他校と同様に試合用ではなく練習用として横2面にバスケットボールのゴールを設置することで対応したい。また、トイレ、更衣室、スロープ等要望のあった施設については、必要と認められるので、改修にあわせて整備していきたい。

#### 【山下委員】

現在の天井はどういった状況か。

#### 【事務局】

7月27日の「天井が落下しそうである」との第一報から2日後に天井の一部が落下したため、緊急に使用停止とし、一度天井を取り払って補修工事を行った。現在は安全が確認されており、使用停止を解いている。

#### 【副市長】

宮内小学校体育館は、平成22年に耐震補強工事を行っている。建物自体は昭和40年に建てられたもの。その1年前の昭和39年に建てられた八代中学校も、建替えは行わず耐震補強で今日に至っている。建物がいつできたかというよりは、その建物が耐震補強をして、その後、維持できるかどうかという調査が大切で、両校については、耐震補強工事により丈夫な建物として維持できている。ただし、工事から10年が経過していることから、内装とか各種悪いところがあれば、そこは長寿命化改良で対応すれば十分やっていけるのではないかと。

#### 【市長】

天井について、今の状態で安全であることは施工業者に確認している。

#### 【泉委員】

学校訪問の際、天井裏の資材が落ちたということを校長先生から伺った。10年前に耐震補強工事を行っていることから、新築は厳しいと思う。この体育館は、災害時の避難場所にもなっているのに建物内にトイレがないとか、ステージ下の地下に水が溜まるとか、そうした部分をしっかり補修すればまだまだ使えると思う。正規のバスケットボールコートを2面つくるという必要性は考え付かない。

#### 【事務局】

資料で示している長寿命化改良案の費用には、トイレ、更衣室の設置は含めていな

い。それらを外付けとして含めると、改修費は3千万円増の2億円ほどになる。

#### 【副市長】

トイレ、更衣室の設置はやるべきだと思う。建替えると、補助の対象とならない。根本的な大改修を、地元の要望になるべく添っていくように行いたい。

#### 【菊池委員】

地元の意見を最大限取り入れた改修がいいのではないかと思う。学校訪問時に、施設の問題点として、敷地の真ん中に溝があり、溜まった水が冬に凍結したり大雨の際に溢れたりするというのを伺っている。もし体育館を改修するのであれば、根本的な改修の一つとしてこのことも取り入れてほしい。バスケットボールのコートについては、ミニバスを2面とれるようにゴールを付ければ良いと思う。入学予定者の資料を見ると、今後入ってくる児童は20人から30人であることから、体育館の広さとしても十分であり、長寿命化改良案でお願いしたい。

#### 【上田委員】

新築というのは、一般市民の感覚からしても「どうして宮内が」ということになると思う。費用がどんどん増えるのは困る。地区の要望があっても、子どもたちに本当に必要なものをしっかり精査して改修してほしい。

#### 【教育長】

地区からの要望で目を引くのは、バスケットボールのコートが2面ほしいという要望であるが、学校に確認すると正規のコートにこだわっているわけではなく、体育の授業や夜間のミニバスのときに2面とれたらいいということであった。

正規：縦28m、ミニバス：縦22～28m、

学校体育：縦24～28m、愛宕中学校：縦24m

今の広さでもゴールを2つ付ければ、練習や授業であれば十分に対応できる。正規の広さが必要であれば縦一面にコートをとれば良いので、バスケットボールのコートについては、横2面にゴールを設置することで解消できると思う。要望は尊重しなければならないが、長寿命化改良案が良いと思う。

#### 【市長】

宮内小学校体育館に関する陳情については、事務局から示された長寿命化改良案に、地区の要望を加えた形で対応したい。教育委員会は学校及び地区と十分に話し合いをしてもらい、改修工事を進めてほしい。

#### ② 喜須来小学校校舎・体育館について

#### 【事務局】説明

喜須来小学校校舎・体育館については、令和3年度に仮設校舎を整備し、校舎に対し長寿命化改良事業を実施した後、体育館に対し大規模改造事業を実施する予定であ

ったが、令和3年度は他に大型事業が多く財源の確保が困難なため、校舎の改修は令和4年度以降に1年間延期となる。

### ③ 松蔭小学校特別教室校舎について

#### 【事務局】説明

松蔭小学校特別教室校舎については、令和3年度に児童クラブが併設された仮設校舎を整備し、木造平屋建てに改築する予定であったが、児童クラブは工事期間中、中央公民館に間借りすることになったので、仮設校舎は理科室と理科準備室のみとすることに変更している。

#### 【副市長】

喜須来小学校校舎・体育館については、仮設校舎の整備だけでも市単費で1億5千万円かかるので、過疎債の充当等、財源確保の関係により、1年遅らせるということで調整をしている。

#### 【市長】

仮設校舎の整備に多額の費用がかかるということは、松蔭小学校の特別教室校舎についても同じことが言える。こちらについては、工事期間中、児童クラブは中央公民館を間借りすることで経費を抑えることができるという経緯がある。

#### 【上田委員】

改築後、児童クラブは特別教室校舎に設置されるのか。

#### 【市長】

児童クラブは木造の新しい校舎に設置される。

あと二つ議題が予定されているので、小学校施設の改修等については、このあたりで終わりにしたい。

## (2) 今後の学校統廃合の在り方について

### ① これまでの進捗状況

#### 【事務局】説明

- ・真穴中学校は、令和3年4月に八代中学校に統合することが決定している。
- ・川上小学校、双岩小学校、松柏中学校は、統廃合に対し保護者の同意を得ることができず進んでいない。再編整備計画のとおり令和4年4月の統合は困難な状況である。

### ② 児童生徒数の推計

#### 【事務局】説明

- ・児童数は年々減少傾向にある。
- ・川上小学校と双岩小学校は、ほぼ同数で推移している。全学年複式学級であるが、

児童数が減らないので現状維持が良いとの意見もある。

- ・松柏中学校は、年々減少傾向にあるが、八代中学校への通学方法に対し不安視する保護者が多く、特に自転車通学に対する危険性を排除できない以上賛成できないとの意見が多い状況である。

「愛媛県内11市の学校の状況」

一覧表の提示

「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」

平成27年文部科学省作成の抜粋を提示

「今後の統合の進め方」

- ・保護者説明会を開催して統合に理解を求めても、賛同を得られる見込みは低い。
- ・統廃合の進め方について抜本的に改める必要があるのではないか。
- ・過去の事例についても、全て、地元の同意を得て学校の統廃合に対し調印を行っており地元の同意なしで統廃合は行っていない。
- ・今後の統合の進め方は今後協議していきたい。

### 【泉委員】

統合による意識調査を見ると、川上小学校や双岩小学校では、「少人数学級はきめ細かな教育ができるので、小学生にとってはいいのではないか」という保護者の意見や、「小学校がなくなると地元がさびれる、さみしい」という地元の人々の意見が多かったと思う。これについては、なかなか行政が立ち入りにくいところと感じる。

一方、松柏中学校の意識調査を見ると、どちらとも言えないという人は別にして、賛成と反対に極端な違いがない。意見を見てみると、多くの保護者が通学路に関して不安を感じているようである。統合を行政の方から積極的に働きかけたいのであれば、この問題を解消するための努力をしてほしい。特に江戸岡小学校裏の千丈川沿いの道は狭く、朝、裏道として利用される方も多い。車は時間帯で通行止めにしてもらい、地元の人々は許可証があれば通れるとか、何かそういう工夫を保護者に示してはどうか。

スクールバスの利用も、距離が4キロ以上という決まりがあるようだが、基準に満たない場合は、例えば、松柏から広瀬病院のところまでは路線バスを利用して、そこからは歩いて八代中学校に通うとか、（大黒町の生徒は歩いて八代中学校に通っている）そういう工夫を保護者説明会で示すことができれば、賛成・反対の数も少しずつ変わってくるのではないかと思う。

### 【菊池委員】

大黒町から八代中学校までの距離と、八幡浜高校から八代中学校までの距離はほぼ同じである。大黒町の人々はこれまで徒歩で八代中学校に通っている。当然、交通量の多い県道も横断している。状況的には同じではないかと思う。4キロから先の遠い人のケアを重点的にすべきで、心配であれば、既存の路線バスを利用するというのも選択肢の一つではないかと思う。

ただ、中学校では部活動をすることになるので、生徒からすると、一番便利な乗り物は自転車になると思う。あまり交通手段を絞ると、統合して部活動ができるという

メリットを享受できなくなる。教育委員会で自転車教室を開催するとか、登下校時、警察の方に交通指導をお願いするとか、安全面のサポートが必要になってくると思う。

#### 【山下委員】

賛成・反対意見の資料では、子どもたちの意見が見えてこない。一番影響を受ける子どもたちがどう考えているのか。そこもほしいと思う。

#### 【市長】

日土東小学校が日土小学校に統合した後の子どもたちの感想の中に、6年生になる児童が1人だったから、同級生ができてうれしいというものがあった。なかなか子どもたちの気持ちを統廃合する前に読み取るのは難しいのかもしれない。ただ、子どもたちは環境になれるのが早いということは、実感としてある。

#### 【上田委員】

中学校の統廃合については、行政が保護者の不安にどれだけ応えることができるか、通学に対する不安があるのであれば、こういう対応ができるという具体的なものを示して、できるだけ保護者に寄り添うことが大切だと思う。

保護者は、今後の統廃合について、こうなるであろうとある程度予測して動いていると思う。そうした予測は昔からよく聞いてきた。中学校の統廃合については、前向きに進めてほしいと思う。

小学校の統廃合については、なかなか子どもの意見というのは聞き取りにくいと思うが、交流学习をして楽しかったとか、修学旅行を一緒に行って良かったとか、そういったことも一つの声ではないかと思う。

先日、川上小学校を訪問させてもらった。小規模校の良さも感じるが、やはり、保護者の立場を考えると、複式学級については不安を感じる。できるだけ大人数の中で、いろんな体験の中で、生きる力を身に付けていくという方向を望む。

保護者アンケートを見ると、賛成と反対は依然として拮抗していて、大変悩んでおられるように思う。子どもたちの幸せのために、親としてどうすべきかを長い目でじっくりと考えてほしい。真穴中学校も、統合に至るまでは大変であったが、最終的には、保護者の考えに地域の人が同意するというところで納得してもらった経緯がある。粘り強く話し合ってもらって、子どもたちが、できるだけ大人数の中で生活できることを願う。

#### 【市長】

教育委員会、学校教育課で地域に入ってもらって、学校統廃合に関する説明会をさせてもらっているが、なかなか統廃合は進んでいない。特に川上小学校については、校舎の建替え問題もある。総合教育会議として、方向性を示すことができれば、少しは前に進めるのではないかという思いがある。

真穴中学校の統合の際に、「普段、仲の良い保護者が賛成・反対で分かれるくらいなら、統廃合は市で決めてほしい。そのほうが地域に禍根を残さなくて済む」といった

保護者からの意見があった。みなさんはどう考えるか。

#### 【泉委員】

川上小学校については、統合した方が良いと思う。学校訪問時に複式学級の状況を見て、決して本来の姿ではないと感じた。運動会の際、地域の方と話をしても賛成の声はよく聞く。子どものためには統合した方が良いと思う。

#### 【山下委員】

統廃合を経験した保護者から、結果に対して少し投げやりな感想を聞いたことがある。決断には当然、時間をかけなくてはならないと思うが、子どもたちが良ければ、きっと後からでも理解してもらえらると思う。

#### 【菊池委員】

保護者の方は、児童数が少ないと、きめ細かな教育ができると思われているが、それは間違いだと思う。授業の半分が自習になるような形ではなく、少人数の中でも一緒に進んでいくというのが正しい在り方だと思う。授業を一人で2つ進めている先生のご苦労は、並大抵のものではないと思う。

統廃合の議論で、地域の方が学校の児童数を言う場合、川上小学校なら、現状で26人もいるという言い方をする。松蔭小学校は100人もいないかと。それは総数であって学年一つ一つを見ると、川上小学校は5人未満となっている。早急に対策を講じていい数字だと思う。

次に出てくるのが登下校の話だと思うが、そこは手厚くサポートすべきだと思う。校舎の耐震問題については、一刻も早く対応しなくてはならない。統廃合の議論では、とにかく少数派の意見が表に出てきてしまうが、川上小学校に関しては、一刻も早く対応すべきだと思う。

#### 【市長】

学校の統廃合については、十分話し合いをしながら進めていくが、煮詰まった時には、ある程度、市の方から方向性を提案する。その時期はしっかりと見定めたい。協議も継続して行っていきたいのでご了承をお願いします。

### (3) コロナ禍における学校運営と児童生徒の状況

#### ① コロナ禍における学校運営

##### 【事務局】説明

- ・市内の全小中学校で4月20日から臨時休業に入った。
- ・5月25日 学校再開 休業約1カ月間 授業日数21日分減
- ・5月13日 教務主任研修会において今後の見通しを持たせるため提案を行った。
  1. 夏季休業を短縮して授業日を確保する予定であること
  2. 平常日の日課表を工夫することによって学習時間を確保すること

このことによって、無理のない範囲で7時間授業等を実施する学校が増え、結果的

に、各校の学習進行は、1学期末時点で概ね例年に近づくことができた。

- ・修学旅行は、今月29日に白浜小学校が行く。それ以外は全て実施済。
- ・例年より泊数を1泊減らし、小学校は四国内の愛媛と香川を中心に、中学校は四国又は山陰を旅行先とした。
- ・児童生徒は、何より修学旅行ができたということ自体に感謝の気持ちを強く持った。
- ・これまで意外と行く機会がなかった松山城やマイントピア別子などに、改めてその魅力を感じた。
- ・比較的近場だったので時間的にゆとりがあった。
- ・運動会は午前中半日開催として全小中学校で実施済。
- ・徐々に対外的な活動も広がりを見せている。  
(中学校体育大会、吹奏楽部演奏会、小学校陸上運動記録会)
- ・児童生徒の意欲や充実感にもつながっている。

## ② 児童生徒の状況

### 【事務局】説明

- ・9月下旬から11月上旬にかけて全ての学校を訪問した。
- ・児童生徒は概ね元の学校生活の状態に戻りつつあると実感している。
- ・ペアやグループでの話し合い、実技・実習といったものも増えて、学習形態にも変化が見られる。
- ・活動のベースには常に感染症対策がある。手洗い、うがい、検温、マスクの着用、そういった生活習慣もすっかり定着してきた感がある。
- ・児童生徒は不安も抱えていると思われる。9月にアンケートを実施したが、新型コロナウイルスに関するテレビやネットを見て気持ちがしんどくなるかという項目について、「よくある」「時々ある」を合わせると、小学生で約47%、中学生で約67%という結果であった。
- ・外遊びが減り、室内で過ごすことが多くなるので、運動不足等で体力が落ちているのではと危惧している声も聞く。
- ・ゲームをする時間が増えているという学校が多い。
- ・本市はスクールカウンセラーやハートなんでも相談員といった気軽に相談できる体制がある。今後も生かしていきたい。
- ・子どもたちの安全、人権を重視しながら、家庭の理解、地域の協力を得て教育活動を進めていきたいと考えている。

### 【教育長】

各校の校長に聞いた「子どもたちの様子を見て不安に思ったこと」と「コロナ禍で子どもたちが成長したと感じたこと」について報告する。

- ・修学旅行の行先の変更とか運動会の短縮ということがあったが、不平不満を口にする児童生徒は一人もいなかった。
- ・できる喜び感謝する気持ちが湧いている。

- ・友達への優しさや思いやりも以前より増している。
- ・休みが続いて不登校傾向になった子どもがいないわけではないが、逆に昨年不登校傾向だった子どもが学校に行くようになっていたりしている。全校欠席0の日が増えたところもある。
- ・ゲーム依存という問題もあるが、一方でお手伝いとか読書も増えている。

#### 【市長】

コロナ禍で生まれる新たな発見、成長もあるわけで、そのあたりも見落とさず拾い上げて、子どもたちの更なる成長につなげてほしいと思う。今後とも、教育行政の効果的な推進を図るために、教育委員会との連携を密にしていきたいと考えているので、よろしく願います。

- (4) その他  
特になし

#### 【事務局】

委員のみなさんには、長時間にわたって貴重なご意見をいただいた。感謝を申し上げます。

閉会